いしずえ

沼津建設業協会
広報誌

発行・編集
社団法人 沼津建設業協会

広報委員会
沼津市御幸町17－12
電話〈055〉932－8311

発行日　隔月1日

第17回写真コンクール　優秀賞「富士とひまわり」田代治子(㈱オサコー建設)

私達の住む、資源の乏しい日本は第二次世界大戦の敗戦後に、世界第二の経済大国となりました。そして21世紀を迎えた今日もその地位を継続している。それには、日本人の前向きな努力、勤勉という理由があります。その過程においては、高度経済成長期という時代があり、生産効率とか経済効率のみを最優先する時代で、そういう企業経営によって生じて来た「公害」という大きな社会問題を生産してしまった時代でもあるということを我々は新しく覚えている。

この様な過去の反省の上に立ち、行政や我々企業は色々な技術を取り入れ環境保護に配慮してきました。それは、上水道整備や下水道整備であり、またゴミや産業廃棄物処理・森林保護・大気、水質汚染物資の排除・省エネ活動・燃料電池や太陽光発電又風力発電に代表されている代替エネルギーなどの開発、設置など多くの分野にわたっています。これらの経験的な技術は、今日経済成長期を迎えている中国などの有力な国はもちろん、アジアやアフリカなどの開発途上国にとっても参考となる事例であり、技術として世界から大きな期待も寄せられているそうだ。

いよいよ京都議定書が発効され、世界共通の問題である地球温暖化や環境問題に対する企業の責任は、さらに大きくなりました。

ちなみに発効までに長い時間がかかった京都議定書には先進国に温室効果ガスの排出削減を義務付けている。京都で一九九七年に開かれた第三回気候変動枠組み条約締結国会議で採択されたが、運用ルールの詰めやアメリカの離脱、ロシアの批准引き延ばしなどがあり遅れてしまった。

この間にも異常気象は各地で起こっている。このままでは、海面上昇や感染症の増加など、私達の暮らしそのものが成り立たなくなるといわれている。

この時代、我々企業が、全ての生命の母なる地球の環境保護を考えるのは当然です。そして、その意識の低い企業に対する消費者の反応は大きな影響力を持っていることを決して忘れてはいけません。企業は、自社の環境意識の高さが消費者の支持を得るポイントであり、成功への大きな要素であることを意識しなければならない。

これからは、「環境保護を考えながら、そして利益を生み出していく企業経営が大切だ。」ということを忘れてはならない。

野帳

環境保護と企業経営

(株)河野建設　河野　一郎

未来に向けて

第65回

情報セキュリティー対策

1　情報は経営資源

今年四月に個人情報保護法が施行されました。これを機会に情報セキュリティーの重要性について考えてみたいと思います。

企業にとって、人・物・金とともに情報は重要な経営資源となっています。コンビニエンス・ストアを例にとって考えてみましょう。狭い店内で扱う商品数は限られており価格もそれほど安くはないのに、商品が売れて利益を上げています。これは情報を徹底的に利用しているからです。売れた商品の情報を的確に分析し、在庫管理や売れ筋情報、さらには商品開発につなげています。このように情報は価値を生み出す大切な経営資源です。従って、情報セキュリティー対策は重要な経営課題と言えます。

2　社会的背景

このような背景には、二つの大きな要因があります。

一つ目は世界的に情報セキュリティー対策を重視する傾向が強まっていることです。インターネットが普及した現代社会では、デジタル情報は国境に関係なく、瞬時に世界を駆け巡ります。情報漏洩が起これば、その影響は計り知れません。故に情報セキュリティー対策をコンプライアンス（法令順守）の中にきちんと位置づけることが、世界的な流れとなっています。

二つ目は日本における様々なシステムが脆弱なセキュリティー対策の上に成り立っていることです。日本には今までセキュリティーというものを考える風土がありませんでした。安全であることが当然だったからです。海外でしか起こりえないと思われていたような犯罪が日本でも現実に起こる時代なのに、人の意識がまだ追いついていません。つまり、セキュリティーに対する考え方が甘いのです。

3　教育の重要性

情報セキュリティー対策は経営資源をどう活用するかという戦略的な課題に直結するにもかかわらず、経営者の意識はまだまだ低いようです。ITを利用してサービスを拡充したり、業務プロセスの改革をしていく上で、セキュリティー対策はベースとなる部分です。非常に大切なところなのに、経営者の関心が薄いのです。

ではなぜ関心が薄いのでしょうか。根本的な原因の一つに教育の問題があるのだと思います。日本の国立大学のほとんどに農学部がありますが情報学部のある大学はそれほど多くはありません。日本で農業に従事する人の割合は人口の約3%です。コンピューターやインターネットがこれほど普及した現代ですから、情報学に関する学部がもっとたくさんあって然るべきです。

本来教育は実社会をリードしていくべきものですが、現実は実社会に遅れをとっているのです。従って、教育機関では時代のニーズを先取りしたプログラムを提供していく必要があります。

4　標準化に向けて

情報セキュリティー対策に関して「ISMS（インフォメーション・セキュリティー・マネジメント・システム）」のような標準規格を取得する動きが出てきています。企業間のネットワーク化が進んでいる現在、自社の情報セキュリティー対策が万全でも、取引先やそのまた先の取引先から重要な情報が漏洩する可能性があります。そこで、取引先各社が情報セキュリティーの標準規格を取得していればお互いに情報漏洩が防げるという考え方です。

またこの分野における技術の進化・発展は目覚ましく、脅威のあり方も多様化しています。従って特定の一社が情報セキュリティー対策を担うのは不可能です。今後様々な技術が試されていくと思いますが、技術をブラックボックス化するのではなくオープンソース化していくことが肝要なのではないでしょうか。

そして、このような標準化は、各国が各々行うのではなく、世界標準を作って各国がこれに参加していくという考え方が重要なのです。

特別寄稿

「水の惑星」生命の営みのある地球環境を考える(55)

環境カウンセラー　保坂貞治

世界の灌漑用地下水が枯渇の危機にある　その⑤

規模と複雑さの点でこのリビアの計画と肩を並べるのは、中国の長江利用計画である。大規模人造河川計画として知られる総額250億ドルのプロジェクトは南部の砂漠の下にある帯水層から水を汲み上げて長さ4000kmに及ぶコンクリートパイプを使って150km離れた北部まで送ろうというものである。

リビアの指導者ムアンマル・カダフィの構想によるこの人造河川は、1991年8月に華やかな式典とともに開通した。98年始めで年間1.46億m^3の水をトリポリとベンガジに送っている。この計画により年間最大22億m^3が送水されることになる。その80%が農業用水である。しかしながらサウジアラビア同様砂漠農業は長くは続かないであろう。一部の水利工学者は40—60年で地下水は枯渇するであろうといっている。

北アフリカから中国北部の畑に至る事情もほぼ同じである。世界各地の穀物地帯で地下水が持続不可能なレベルで使用されているのである。インド、中国、アメリカ、北アフリカ、アラビア半島を統合すると年間約1600億m^3、約ナイル川2本分の年間流量に匹敵する量である。その他オーストラリア、パキスタンを加えると世界の地下水利用量は10—25%増えるであろう。この膨大な量の地下水の使用は人間の主食である穀物生産のために使われている。1トンの穀物生産するのに約1000トンの水が必要である。地下水を使って約1.8億トンの穀物が生産されている。これは世界の穀物生産の10%に当たり、この規模で食料を生産をしたとして世界の人口増に対して水を如何にして確保したらよいか心配である。

(6) 地下水の効率的利用

テキサスの工夫

やせ細りつつある水源を前に食料生産を維持していく道として、その水源を効率的に使い生産を上げオガララ帯水層の減衰を防ぎ、効率的灌水実践の研究が1980年代地域、政府の担当機関と研究者により進められた。地下水位が確実に下がっている事実に着目して、水の効率的使用による農業の生産性を上げる技術と管理方法をまとめた。テキサス州北西部15部の水管理を監督するラボック市のハイプレーンズ地下水保全地区が先頭にたって地域の灌漑システムの向上を図った。従来の重力による灌漑は、効率60%で40%が表面を流れるか地下に浸みこんでしまう。ハイプレーンズの農家はサージ灌漑といって水を一連の波動にして畝間に送る。これにより水が波動によりより速く遠くの作物まで効率的に流れるように工夫した。また時間制御バルブで何列かの畝間に交互に水を送る方式で灌水した。水の量も時間も土壌の質や畝間の長さにより調節可能にした。こうして従来の重力式の灌漑の10—40%の水の削減に成功した。ハイプレーンズの農家は平均25%節水して灌漑設備投資1haで30—120ドルを2年で回収している。またこの地域の多くの農家はスプリンクラーを使っている。しかし、アメリカのグレートプレーンズのように乾燥した風の強い地域では空中高く噴霧する灌漑では、大量の水が蒸発して風に流されてしまうので出来ない。もう一つは散水支管自走式低圧スプリンクラーで、地表近くに設置されたノズルから水を撒く方式で蒸発や飛散がなく最大95%有効に水が使われ、他の方法の15—40%も水の使用量を少なくした。ハイプレーンズの農家はこの方法で収穫量がトウモロコシ10%、綿花15%増加した。最近は綿花に対するドリップ灌漑も始まった。ドリップ灌漑とは孔の開いたプラスチック菅を地面の上、或いは下に張りめぐらせて植物の根に直接水を与えようというものでインド、イスラエル、ヨルダン、スペイン、アメリカ等で行われている。

地下水の利用方法の改善がなされ、散水方法の工夫により水使用の効率を上げ、生産は向上しても地下水の過剰汲み上げが改善された訳ではなく、やがて地下水が枯渇したときの悲劇は大きく、枯渇した砂漠地帯は生き物も生育出来ない不毛の土地と化してしまう。

古雑誌の随筆（その四十）

橋の文学散歩

後藤貞一

今古雑誌の随筆から

雑誌「鋼橋塗装」一九七五、七月発行。VOL、3、No.2

「橋の文学散歩」静岡県土木部道路建設課橋梁係長(当時)後藤貞一(技術雑感)から

その一

車の通らない山路を歩くと路の原形に出会った、と思うことがある。路は山腹をわずかに踏みわけ、縫うようにして山頂へ向かう。山と山との鞍部には、谷川が流れ、小橋が架かる。丸太を不器用に、数本並べたばかりで、橋と呼ぶには、あまりに素朴だが、そこは水呑み場であり、休息の場ともなっている。

人が歩いても、けものが歩いても、このコースは必然のもので、つとめて人工を避け、自然の一隅を借りて、ささやかに横たわる。

路が街道の性格を帯びてくると、曲った路は直線に変わり、上り下りの少ない、平坦な道へと変身する。谷川を飛び越え、山肌を削りとり、鋼やコンクリートの材料が、自然に挑戦し、人工の色合いが前面に出てくる。

人間の欲望と智恵とが、技術を向上させて、文明が生み出され、人間にとっての便利さと快適さが供給され、今日の社会ができ上がった。

技術が技術を産み、欲望が際限もなく充足されると、その先は桃源郷だと思ったとき、ブレーキがかかって、夢が醒めた。

我が宇宙船地球号には、問題が山積している。有限資源、爆発的に膨張する人口、食糧、世界的インフレ、経済不況の嵐、等々、昭和元禄は末期症状を呈し、人々は、ひゞ右往左往するばかりの世情である。

公害問題の最右翼に、道路の建設があげられ、口を開けば、排気公害、騒音公害、自然破壊などなど、マイナス思考が増幅されて、道路建設反対の運動が展開される。それでは、鋼橋もいらない、塗装も無用かといえば、そうもいかない。白でなければ黒だという短絡思考でなく、調和の中から難関を乗りきる、日本人の生活の知恵が、新しい解決策を見つけ出さなければなるまい。神風が吹いて、日本が戦勝するといった議論でなく、新しい知恵と試みが、それを可能にしてくれると信じたい。

忙しい世情の中で、技術屋には縁遠いとされている。「文学散歩」を試みようというのも、先人が橋に寄せた心に触れ、日本人の心の故郷を訪ね、新しい智恵の源に到達したいという、温故知新とでもいう、ロマンチックな心情なのである。

〔小野小町〕

私の家の前に、幅二米にも足りない小川が流れている。この川の上流に、小野小町姿見の橋と呼ばれる、小橋が架っている。その昔は丸木橋だったかもしれないが、幾度か架け換えられて、今は永久橋（鉄筋コンクリート）として、街並みの中に埋もれているので、見過ごしてしまうような小橋である。

小野小町が、晩年、東海道を上った折、病を得て、岡部に投宿したという。ある日のこと、宇津之谷の山を背に、遠くひろがる志太平野を眼前にし、この橋の上に足を止め、過ぎてきた、京の街での若き日の感慨にふけりながら、ふと眼を落すと、せゝらぎの小川に、我身の姿が映っている。

〝花のいろは　うつりにけりな　徒らに　我が身　世にふる　ながめせしまに〟

と、一首を残した。

美人のほまれ高い彼女の、晩年の姿は、名もない小川の小橋を背景に、京を遠く離れた寒村の風景と共に、捨て難い詩情があり、美しくも、哀しい、一幅の日本画である。

日本最古と伝えられる、大阪の「猪甘津(いかいつ)の橋」は、仁徳天皇一四年（三二六）に百済川に架けられたとされているが、記録されなかった大橋小橋は、これ以前に、どれほど架けられ、どれほど消えていったものであろうか。

橋は道の端にあり、村落の外れにあり、こちらとあちらを繋ぐものであり、川の流れを飛び越えて、彼方へ向かうものである。そこは、別れであり、出会いであり、また、出発であり、再会でもあった。

橋の生命（木造橋の寿命）は短かくて、数年もすれば、朽ちてしまったり、流れてしまったりしたから、語り伝えや、文字による記録には適していなかったのかもしれない。

然し、橋が舞台になったり、橋がテーマになる物語りは、数え切れない程に沢山ある。それは、人々に訴える、特別な何かゞあり、感情を刺激するに、ふさわしい環境であるということかもしれない。

〝しのぶれど　人はそれぞと　御津の浦に　渡り初めにし　ゐかひ津の橋〟

と、小野小町が歌っていることで、猪甘津橋には、生命が宿ったのかと思う。

静岡探検倶楽部

第三十回　緑に囲まれた水上散歩…川根町笹間川ダム

文　井下　秀文

私のひみつアイテムのひとつにカヌーがある。恥ずかしい話だが、ここ五年間使っていない。家で無用な空間を占めていながら、用途を忘れてしまったかのように放置され続けた。そのカヌーを今回ひさびさに活躍させることにした。家内は言う「これ浮かぶの?」。沈むことはないと思うが、長年じっと立て掛けられていたので、フネが曲がっているかもしれない。まあ、道具と私の感覚のチェックのために、どこか静水域で浮かべることにしよう。

ある初夏の日曜日、クルマにカヌーと七輪と肉を積んで、家内と一歳半の息子を連れて大井川中流に向かった。島田からさかのぼり、川根温泉を過ぎると、道は大井川本流から離れ笹間川沿いとなる。坂をひとつ登ると笹間川ダムとなり、水が深い緑色をしている。以前からこの湖でカヌーをしてみたかった。

笹間湖の上流の川の流れ込み口にちょうど駐車場、湖面に下りる階段があり、ここからアプローチする。階段を下りると広い河原で、満水時には湖になりそうなところ。ダムにより堆積したのだろうか。

川が透明な水で流れ込み、すぐに深い淵になり、そのまま流れが止まって湖につながっている。湖は岸辺にすぐ木々をかかえ、新緑が覆いかぶさっている。深い緑に囲まれた、いい風景だ。

さっそくカヌーと息子を水際まで運ぶ。息子に着せる浮力ジャケットは、前日夜に買っておいた。

まずは浅い岸辺で進水式だ。感覚を取り戻すためまずは私単独で周回する。水の上のゆらめく感覚がなつかしい。

私のカヌーはキウィという機種で、定員一人半の親子乗り仕様である。独身時代に買ったものだが、直進安定性にすぐれていることと、荷物が満載できることが旅に好適と評価し、これに決めた。仲間内のリバーツーリングの時にはビールや魚とりの道具を運搬していたものだ。それが現在、本式の使い方である親子乗りが実現するのは感慨深い。

さて一歳半の息子のカヌーデビューである。私のひざの間に座らせ、水面をゆらゆらと進む。息子は別にフネの揺動を怖がる様子はない。視線のすぐ下に水面があり、水の中は透明だが深く底は見えない。岸の緑を映し、エメラルドグリーンの湖面が続く。

パドルが跳ねる飛沫が私の腕や息子の頭に絶えずふりかかるが、それも心地よい。息子は不思議そうな顔をしながら、コクピットから腕を伸ばし、スコップで水をかいたり、すくって飲んだりしている。まったく緊張感がない。風呂とはちがうなあ位にしか思っていないかもしれないが、この風景や感覚をじっくり感じ取ってほしい親心である。

家内と交代でフネ遊びをし、昼間はこの遊び場を見下ろしながら焼肉をした。緑に囲まれた贅沢なひとときを、なんと私たち家族だけで貸切状態で過ごしたのである。ファミリーカヌーには穴場かもしれない。

さて次は、息子のカヌー沈デビューはいつにしようか。

▲笹間湖のバックウォーターは広い河原。

▲親子カヌーが深緑の湖面を遊覧。

▲息子の視点から水面を見る。

「からだづくりの教室」便り

宮本悦子(12)

「夏の冷房対策」

近年の夏の暑さには閉口しますが、どこに行っても寒すぎる程に冷やしている冷房にもまた閉口します。

冷房病という名前があるように冷えによる体への悪影響は想像以上に恐いものです。

また夏が過ぎれば体も元通りかと思うと、そうでもないようです。

冷えが長く続いたりくり返されたりすると、特に女性は単に冷え症というだけでなく妊娠や子育てがしにくいような体にもなるという深刻な問題に気づいて欲しいのです。

驚くことにこの頃は若い男性も、自分は冷え症であるとか、足が冷たくて夜眠れない、いつも脚がしびれたままである、などと訴えるのです。

また、お父さんがクーラーで冷やしすぎてお腹や頭が痛くなる小学生や、寒くて同じ部屋では眠れないと夏だけ別室で寝るというお宅の話などよく耳にします。

夏の寝室は25～28度が適温といわれます。眠っている間にもたっぷり汗をかいて老廃物や余分なものを捨てているのです。

ところが冷えた中で眠ると捨てきれない老廃物が体内に残ったまま朝を迎えることになり、それでとてもだるいのです。

いつでもどこでも冷やし過ぎないことが肝心です。

夏の体は外部から冷やすのではなく自分の発汗作用により余分な熱を捨てるのです。

そして丁度良い体温になるから、さっぱりと自然で快適に感じるのです。

そうは願っても今はあらゆる場所で冷房が効いていますので、できるだけ冷気から自分の体を護ることに注意を払いましょう。

暑いので無防備に出し放しの首すじ、肘、膝、足首などは冷房の中に入ると格別に冷え易い箇所になるのです。

ちょっとの間だからといってそのままでいるよりも、体を大事にしようと思う気持ちで上着などを持ち歩き、着る脱ぐで調節しましょう。

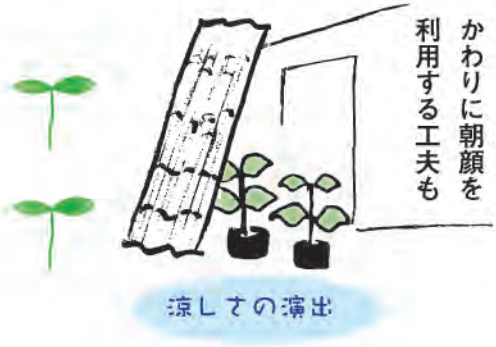
何も持っていない時は掌で肘を被ったり、冷房の中に入る前にしっかり汗を拭いておくのです。汗をふかないまま冷やされるのは、体にはとても悪いことなのです。

帰宅したら足湯と首への蒸しタオルを使って手当てができると良いですね。足湯をしながら足指を伸ばしたり開じたり引っ張ったり、耳をもんだり、肘をさすったりもしてみて下さい。体が温まるとほっとする感覚が生まれます。

暑い日が多い近年はその分冷房に当たる時間も増えますので、体の冷えすぎ対策にはひと工夫が必要になってきます。

後頭部　梵のくぼあたりに蒸しタオルを約五分間当てます

お風呂より少し熱い湯に五～八分足をつけます



よしず又はすだれと窓の間隔を広くとりそこに打ち水をしたり植木や鉢を置いてたっぷり水をあげるよしずやすだれのかわりに朝顔を利用する工夫も

御厨(みくりや)の古今 (2) 弔魂碑 裾野に眠る八勇士

勝間田　秀彦

弔魂碑
昭和八年七月二日
歩兵第一旅団緒兵
連合演習
殉難勇士
陸軍大臣
荒木貞夫　謹書

昭和八年七月二日富士裾野に於いて、東京赤坂第一連隊と山梨県甲府第四十九連隊の師団の年中行事である旅団の連合演習がおこなはれた。演習の目的は耐熱・渇水訓練であった。満州や支那大陸を想定しての演習であった。炎天下に於けて人体の極限がいかように耐えられるかと言う人体実験でもあった。

この演習に於いて死者八名、重傷者十八名、軽傷者約六百名に及んだと言うこの犠牲者は第一連隊のみであった。第一連隊では此の演習に当って出された命令が「夜間に入ったら水筒の水で飯盒炊さんをする節水せよ、水は飲むな」であった。第一連隊は裾野市佐野の小学校に来たときにはすでにアゴを出した者が多かった。学校でのしばしの休息の後、午前十時北へ向かって進軍する。御宿まで登ってき時には初年兵の一部は首に紐を着けられて引っ張られるような状態であった。御宿の勝又さんは家の前の軍道をいつもと違った兵隊の行列を見た。ふらふらした兵隊の行列であった、みんな水を欲しがっていたが軍隊のことに手をだすわけにはいかず、ただ見ていただけだった。この頃の演習場はいまのように、全面立ち入り禁止でなく、住民は常に畑に耕作に入っていた。おまけにこの日は、日曜日でとくに畑に出る人も多くこの状況を見た。軍隊の事で手を出せなかった。地元では昔からそう言われていた、が目の前で兵隊がばたばたと倒れる、一人死に、二人死んだ。上の方でも死んだ「みんな死んじゃうぞ」と言う事になり誰からの命令や指示があったわけでもなく現場に人達の手で水が用意された。現場にいた人達だけでは間に合わず、今里の地区の勝又さんが責任に於いて半鐘がならされ多くの人々が集められた。

夕方になって神山・大阪・駒門でも半鐘がならされた、兵隊を助けると言うよりも人が人を助ける事はじまった。自主的に半鐘をならし救援に出た、水を飲ませたり、水をかけたり、水場への案内をした。また水が間に合わず体を土で冷やすため穴を掘って身体を入れて冷やしたなど、この救援がなかったらもっと多くの犠牲者が出たことだろう。裾野・三島・沼津・御殿場などの開業医は非常招集をして救護班を作り応急手当をする、と同時に富岡・裾野・富士岡・須山などの在郷軍人・各消防団・青年団などの応援を求めた。夜から翌日にかけて大救援活動がはじまった。北駿地方に時ならず大きな混乱になった。

新聞記事（東京新聞）
昭和八年七月四日（火曜日）
富士裾野における野砲・歩兵・工兵連合演習中日射病で死亡した歩兵第一連隊（東京赤坂）七名の兵士はことごとく胸部や咽喉部などえの重傷を負い鮮血にまみれて死亡する

中　略

第一連隊は昭和八年六月十六日板妻の廠舎に廠営し大隊の錬成及び検閲を終り、志気いよいよ旺盛、師団の年中行事である旅団の諸兵連合演習に参加する。七月二日連隊は想定に基づいて軍旗を奉じて三島北方佐野に集合するここで諸兵併せて南軍支隊となる。当時相手となった敵は甲府第四十九連隊須走方面より南進中で川村台付近で遭遇戦となるものと判断していた。

以下　略す

事件以後軍隊では角型水筒を止めて、丸形になり容量も増えた。衣袴（軍服）もツメ襟から折襟・開襟から脇開きの南方用が作られた。

八甲田山事件

裾野の焼熱事件と対照的に青森県八甲田山雪の行軍があった。明治三十五年一月、寒い中国大陸の戦争と言う、印象が強い八甲田山は通常の軍隊演習・訓練・行軍人体の寒さに対する生体実験でもあった。百九十九人の犠牲者をだした、事件二年にして日露戦争がはじまった。両事件とも以後の戦争想定した訓練であったことは事実であったといえる。

御殿場市印野八三九の二
株式会社　勝間田工業　内
勝間田秀彦

言いたい放題

四月十九日に千葉県千葉市の市道のガードレールに挟まった金属片が、通学中の男子高校生の左足太ももに刺さり七針を縫う怪我をした。又、埼玉県行田市でも、五月二十八日に同じく通学中の男子中学生のすねに金属片が刺さり十八針を縫うけがをした。

この事故にて、国土交通省、全国自治体が急遽調査をしたところ、全国四十四都道府県で約二千箇所に及び金属片が見つかった。

金属片は、ガードレールの継ぎ目や、ボルトとガードレールの間に挟まった状態で、車道側に突き出て発見され、多くの金属片が、錆が出た状態で長期間挟まっていたと見られる形で発見されている。

警察は、人為的なものと見られる物については、傷害罪として、調査を進めるとしている。

国土交通省が、ガードレールメーカーに問い合わせたところガードレール設置時に使う部品では無いし、設置工事時に中に使う部品工具でも無いと確認したとしている。

新聞によると、国土交通省は、国道のガードレール設置工事が終わった時に確認点検した時には、金属片は見つかっていないし職員による道路パトロールも年中繰り返し行っていると答えているとしている。

しかし、年中道路パトロールしている黄色い車は確かに良く見るが、何をパトロールしていたのかと疑問がのこる。確かにパトロールはしていただろうが、金属片は、大部分がさびていたはずで、自分の記憶の中では、金属がさびるのには、雨風にさらされ、数日が経たないと錆は出てこないはずだと記憶する。新聞の記事によると、大部分の金属片がさびていたと書いてあったと言う事は、黄色い車のパトロール中に何を見ていたのだろう、確かに道路上のクラックひび割れや、道路のへこみなど別の異常について監視していたのかもしれないが、ただ朝打合せをして、出発し夕方五時ちょっと前に戻り報告書を作り、ではご苦労様でしたなんて言うパトロールなんかしてたりしてね。

まんざらはずれていなかったりして?

業者には、安全安全を強く要望しているはずなのに当のお役所は、少しおかしいのではありませんか等、確かに道路パトロールも委託業務かもしれないけど、しっかり考えなくてはいけない時代になっていませんか。

JRの事故も元国鉄の社風の雰囲気で、当初は置き石だとか言って他人事の様に発表をして世間の批判を招く事になったし、親方日の丸は考え直さないといけないと思う。

今回の事で、怪我をした学生さんの治療費は、どうなるのだろう、ガードレールは、道路の付属品であるから、道路管理者が治療費を考えなくてはいけないのではないだろうか。

広場

プロ野球も、オープン戦から始まりシーズンイン。

今年は、新規加入球団(楽天ゴールデンイーグルス)が入り又、セリーグパリーグの交流戦も出来、話によると、韓国・台湾・中国・日本の優勝球団同士でアジアチャンピオンを決める構想も有るみたいで野球ファンとしては、わくわくするシーズンインです。

三月末には、パリーグが開幕しました、やはり楽天イーグルスは弱いですよね。

昨年まで、あった近鉄バッファローズと、今シーズンも存在しているオリックスの、言葉悪く言うといらなくなった選手と、他の球団から戦力外通告されて、トライアウトで拾ってもらった選手の集合体ですもんね、当たり前の事ですよね。

でも、野球ファンとしては、いいえ、日本人としては、そんな寄り合い所帯の楽天イーグルスに頑張ってもらいたいところです。

頑張れ楽天ゴールデンイーグルス!

主要行事予定

◎献血
日時　7月15日(金)9時30分～
会場　沼建協前

◎土止め支保工作業主任者講習会
日時　7月28日～29日9時～
会場　沼津建設業協会3F
定員　80名

◎職長・安全衛生責任者教育
日時　8月1日～2日9時～
会場　沼津建設業協会3F
定員　40名

●現場代理人の声

大岡建設工業(株)
勝又　英一

昨今の世の中の情勢では、一頃に比べ公共工事の発注量が減少し、一工事当たりの受注金額も少なくなり、又、発注単価も毎年下る傾向にある、その中で安定した利益を確保するのは難しくなってきている。又、実際に施工する際、設計単価と実行予算単価を比較すると、材料単価は従来と然程変わらない為、下がった単価の影響は労賃に直接反映している、これは、実際に現場で働く一個人の生活費に直接影響する結果となるため、経費・管理費から労賃を補うか、設計単価に見合った作業量で最低限の条件を満たし施工とするのか、等、いろいろ考えなければならない。

以上の厳しい情勢から、最近各個人の考え方が自分の経済的な生活の確保のため、ひとつの製品に携る時間を短縮し、次の構造物・行程に少しでも早く進み、より多くの出来高を確保する事が最優先になっている傾向が見られる、これは、良い製品・技術の向上を心がけるうえで大きな妨げになっている。

現場管理をしていく上でも、厳しい予算をまもる以上に、予算以下の労働力の確保と、予算以上の仕上がりを要求しなければならない、それには、実際に作業をする人たちよりも細かいところまで行き届く知識を持ち、的確な指示を出していかなければ実現できない、又、余計な出費を出さないように細密な施工計画を立、日々管理し、問題発生時には速やかに、安価で的確な対処で支出を最小限に抑える、など、少ない利幅の中から、いかに多くの利益を確保することを常に考えていかなければならない状況にあると思います。

これからよりいっそう、多くの知識を習得できるよう見聞を広げていくのが必要だと思います。

私の余暇 At one's leisure

(株)勝間田工業
渡邉　広也

「お父さん時間だよー。」私の一日のはじまりです。でも学童少年野球の時は、一発で目覚めます。長男次男は選手として、私は指導者、妻はスコアラーとして家族で毎週末野球漬けです。

私も私学の高校野球経験者で当時は「飲むな！泳ぐな！冷やすな！」いわゆる野球道の世界でした。ところが今は、ベースボールの時代です。適時に水分補給、アクアトレーニング、アイシング、当時とは正反対です。スポーツ科学に基づいて、学童野球も行われています。

私が思うに、スポーツをやる以上は勝利を目指します。そのために一番大切な事は「心・技・体」だと常々、言っています。特に学童野球の場合は、心の部分が大半ではないかと思います。

大きい声であいさつができて、道具を大切にし、協力してくれる人々への感謝と、苦楽を共にすごす仲間への友情を常に心の中に置き、ただひたすら真っ黒になって白球を追い続ける、純粋な野球小僧を一人でも多く育てなければと思っています。

子供達と同じユニホームをきて、同じグランドで野球が出来ることが、私のしあわせを感じる時間でもあります。

日曜日の夕飯時には、スコアラーの妻も仲間に入って、その日の反省と次回のテーマがこうだと野球談義で盛り上がっています。

私なりに、充実した時間を過ごせる野球と言うスポーツに感謝します。

安全標語

◎安全に近道はなし　作業手順の再確認
土井　信和　渡辺建設(株)

◎安全は　理屈よりも　まず行動
小見山敏章　岳南建設(株)

家族からみた父親像

大有建設㈱静岡支店
加藤咲季

私たち家族は、3年くらい前に名古屋から転勤で沼津に来ました。私たちも転校して、慣れるのに大変だったけど、お父さんの仕事も今までとは違う仕事で大変だって、お母さんに聞いたことがあります。

そんなお父さんは、車が大好きです。だから、沼津へ来てからは、いろんな所へドライブに連れて行ってくれます。伊豆へ蛍を見に行ったり、久能山へイチゴ狩りに行ったり、富士山を一周したり、箱根に温泉へ入りに行ったり、いろいろな所へ行きました。その中でも一番楽しかったのは、ディズニーランドです。名古屋からは、泊まりでしか行けないので、なかなか連れて行ってもらえなかったけど、沼津からは、日帰りで行けるので、1年に3回も行きました。でも、お父さんはすごく大変だと思います。だって朝5時半頃に家を出発し、8時の開園から、行列に並んだり、ジェットコースターみたいなアトラクションに乗ったり、休憩をほとんど取らずに、10時の閉園までずっと遊びます。そして、帰るのですが、私たちは駐車場を出る頃にはぐっすり寝てしまいます。でも、目が覚めるといつも家に着いています。その間ずっとお父さんは運転しているので、すごいなあと、いつも思います。

それから、去年、買ったばかりの新車を盗まれてしまいました。お父さんは買った時にすごく嬉しそうだったので、すごく可哀想です。それでも明るいお父さんに、安全運転で、いつまでも元気でいて下さい。家族みんなからのお願いです。

私の大切にしているもの

渡辺建設（株）
大川勝範

私の大切なもの、それは大学時代から集めているチョロQです。「いい年して、そんな物を……。」と思われる人がいると思いますが、実は奥が深い代物なのです。

大学時代に何気なく買ったのがコレクター人生の始まりで、今は300台を超えて更に増え続けています。

チョロQは、ご承知のとおりゼンマイで動くミニカーですが、その形は実車の特徴をしっかり捉えていながら程よくデフォルメされているのが最大の特徴です。また、自動車の他にも戦車、飛行機、電車など種類が豊富であるところも魅力の一つではないかと思います。

最近では、実車をよりリアルに再現した物や、レーシングカーやF1も忠実に再現された物もあり、更には、チョロQを一回り小さくした〝ちびっ子チョロQ〟なる物まで登場しており、もはやおもちゃの域を超えて一つのコレクターアイテムとして確率されてきています。

車種も、国産車・外国車の名車から新型車まで余すことなく再現しているところが車好きの私にはたまらないところです。

いい年してこんな物を集めていますが、今乗っている車や思い出に残っている車のチョロQがあれば1台買ってみてはいかがでしょうか。再現力のすごさに驚くと共に、今の車に愛着が湧いたり、当時の思い出が蘇ってきたりするかもしれませんよ。

俳句

水谷美保子

夏霧が万象閉ざす国境（くにざかい）

明日咲かん蓮の一花の凛と立ち

蒼天の日差し眩しき白木槿（むくげ）

短歌

杉山孝子

露分けて踏みゆく径に絡まれる野茨の棘は青く鋭き

盂蘭盆会のそよ風入り来る本堂に読経の調べ響き渡りぬ

つつましき年金暮らしのわが家なり精神衛生上良からず

ペット紹介

落合建設(株)
飯田　千秋

我が家の愛犬アレックス「通称アル」を紹介します。

この犬は、近所の知人から六年前に頂いたコーギーです。いまでは家に帰ると真っ先にとんできて、〝ア・アウ(おかえり)〟と言って出迎えてくれます。こちらも〝ア・アウ(ただいま)〟と言って答えてやる。唯一、私の相手をしてくれるかけがえのない存在である。そして何より大事な家族の一員であり、母の昼間の話し相手でもある。当時を振り返ると色々な事が蘇ってくる。

〝がわいがっていただけるなら〟と、かわいいわが子を里子に出す親元の奥さんの言葉が、いまでも頭の隅に残っている。

実は、これより1年ほど前、10年一緒にいた犬につらい別れをしたばかりだった。もっとかわいがってやれば良かったとの想いと、火葬の黒い煙を泣きながら眺めていた息子の顔を、きのうのことのように思い出します。そのことがあってからもう動物を飼うのはやめようと決めました。家族も同じ想いだったはずですが、子犬を見てしまってはもうブレーキが利きません。以来、犬の散歩は私の日課となり、今ではアルの一の子分であると自認しています。

ありがたいことに、毎朝決まった時間に散歩に連れて行ってくれるので早起きになった。たまには休みたいけど、雨の日も風の日も休まず続いている。人目のつくところでわざと駆け足をし、運動の負荷を高めている。時には、〝きのう橋の上でみかけたよダンナと犬を。足が短くて胴が長くてどっちがお父ちゃんかわかんなかったよお〟とか云われガックリきている。

車に乗るのが大好きで、とく

に停車している時など、通りがかりの若い女の子の〝がわいい〟のひとことに敏感に反応し、得意になっている。どんな時でも、いつでもこっちを向いて相手をしてくれる犬はほんとうにいじらしく愛おしい。

体重一五キロはもう何年も前に計ったきりで、体型は変わっていないが、いつまでも仲良く〝ア・アウ〟の呼吸でやっていきたいと思っています。

広場

はずかしい……

まだまだ若いと思っていたのですが、40代も後半になり、もう若くないんだな……と痛感させられる事件がありました。先日たばこを買いに出た時の事、道路の反対側にあるたばこ屋へ行くには、ガードレールを乗り越えるか遠廻りをしてガードレールの途切れた箇所を横断するかですが、横着な私は当然乗り越える方を選択。

体操選手の様に華麗に飛び越えたつもりが……。足の先が越えられず道路に転落。

幸い車も通っておらず怪我もしませんでしたが、近くにいた若い娘に大笑いされました。

年は取りたくないですね。

神の手

先日家のパソコンが動かなくなりました。

購入してから8年も経つ古いパソコンなんですが、インターネットの閲覧程度の作業では全然問題なく現役で私の愛機となっておりました。

新しいパソコンの購入を検討すべく我賢妻に相談したところ、妻はパソコンの前に歩み寄り、いきなりモニターに強烈な張手をくらわしたのです。

あ然とする私の目の前で奇跡は起こりました。

その後私の愛機は何事もなかったかの様に元気に動いております。

この不景気な時代、簡単にあきらめない妻の執念……！見習わなくては。

お知らせ

第十二回親子自然教室の開催

・時期　八月二十四(火)一日
・場所　奥野ダム(伊東市)
・募集人員　小学生親子
　無料(百組二〇〇人)
・募集　八月一日～十七日
・内容　バス四台にて施設を巡回
・応募先　(社)沼津建設業協会
　(電)〇五五-九三二-八二三一

協会の動き

第一回通常総会(決算)開く

(社)沼津建設業協会(会長　渡邊康一)は、五月十九日(木)午後四時三十分より沼津市内の沼津東急ホテルにおいて平成十七年度第一回、通常総会を開催し平成十六年度事業報告、収入支出決算報告に係る議案の審議を行い、結果いずれも原案のとおり承認した。

例年同様、当日は、建設業労働災害防止協会沼津分会並びに沼津地区建設業協同組合の通常総会も開かれ、結果両者の全ての議案を原案の通り承認した。

災害対策関連　連絡会議開催

災害対策特別委員会(委員長　植松豊)は、五月二十日(金)午前九時より沼津建設業会館会議室に、静岡県沼津土木事務所日吉技監外二名の関係課長の御出席と協会の災害関連情報収集パトロール隊班長も同席し標記会議を開催した。

この会議は、災害応援協定対応の「被災有無確認情報収集パトロール業務」に係るもので初動動作の仕方、出動の時期と判断材料の事例、収集情報伝達の手順など業務の一通りの行程の具体的な流れの確認や疑問、質問に対する当局の説明、解答等について交換を行った。

経営委員会、開く

経営委員会(委員長　佐藤裕司)は、五月二十五日(水)午前十時より沼津建設業会館会議室において本年度第一回、委員会を開催した。

審議の内容は、建設業における「個人情報保護法」に係る講習会開催計画など、本年度、主要事業の実施の具体化などであった。

優良建築物、見学調査の実施

技術委員会(委員長　高田誠)は、五月二十七日(金)午後二時より同建築部会が担当し沼津市内の沼津商連会館ビル耐震改修工事施工現場を委員等、二十八名が見学調査した。

現場の事情等から当日は最初に当協会会議室にて施工者等の耐震改修計画の経緯、補強工法施工要領等の説明実施後、沼津商連会館ビルへ移動し施工中の現場等を見学した。

地区だより

通常総会開催　御殿場市建設業協会

御殿場市建設業協会(髙杉周作会長)は、五月二十五日(水)午後一時三十分より御殿場建設会館において、建設業協会及び建設事業協同組合両者の通常総会を開催し、平成十六年度事業報告、同年度決算報告に係る議案の審議を行い、結果いずれも原案通り承認した。

小山建設業協会

小山町建設業協会(臼井良太会長)は、四月十九日(火)平成十七年度通常総会を開いた。

総会では、臼井会長から新しい年度を向かえ、ますます厳しさをましてきた建設業界ではあるが、会員一社一社力一杯がんばって行こうと活力いっぱいの挨拶があった。

沼津建設業協会小山支部

沼津建設業協会小山支部は、四月十二日に、小山地区の安全パトロールを実施した。

当日は、土木現場三箇所のパトロール行い各現場の安全管理体制等を確認した。

裾野市建設業協会献血運動

裾野市建設業協会(渡辺雄二会長)は五月十七日(火)、裾野市役所駐車場で献血活動を行った。

献血は、同協会の「黄瀬川の会」が中心となって、社会奉仕活動の一環ととして毎年二回三十年以上にわたり実施しているもの。今回は本年度一回目の活動で、協会関係者や一般の人々140人が献血に協力した。